

# 神戸市と東京大学先端科学技術研究センターとの 神戸市の活性化・地域づくりに関する 連携協定の締結について



×



東京大学 先端科学技術研究センター  
Research Center for Advanced Science and Technology  
The University of Tokyo

# 協定名称・協定項目・連携内容

## ◎ 協定名称

神戸市と東京大学先端科学技術研究センターとの神戸市の地域活性化・地域づくりに関する連携協定書

## ◎ 協定項目

- 1 障害者の多様な働き方の創出に関すること
- 2 再生可能エネルギーの活用に関すること
- 3 まちづくりに関すること
- 4 その他、神戸市の地域活性化・地域づくりに関すること

## ◎ 連携内容

事業実施・人材育成

**KOBE**   
UNESCO City of Design



東京大学 先端科学技術研究センター  
Research Center for Advanced Science and Technology  
The University of Tokyo

▶ 実証フィールドの提供

▶ 知見・プロジェクトの提供

**KOBE**   
UNESCO City of Design



東京大学 先端科学技術研究センター  
Research Center for Advanced Science and Technology  
The University of Tokyo

# 項目 1 障害者の多様な働き方の創出に関する取組み事例

## 課題

- ① 個々の障害特性等から長時間就労が難しい障害者の社会参加の促進
- ② 特別支援学校高等部卒業生の就労促進
- ③ 飲食・食品小売店舗等の人手不足の解消
- ④ 駅前空間における地域交流の活性化

障害者雇用率	算入
週30時間以上	1人
週20時間以上～30時間未満	0.5人
<b>週20時間未満</b>	<b>対象外</b>

民間企業で就労している障害者数	障害者手帳交付者数	人口
<b>15,268人 (0.3%)</b>	<b>336,512人 (6.1%)</b>	<b>549万人</b>

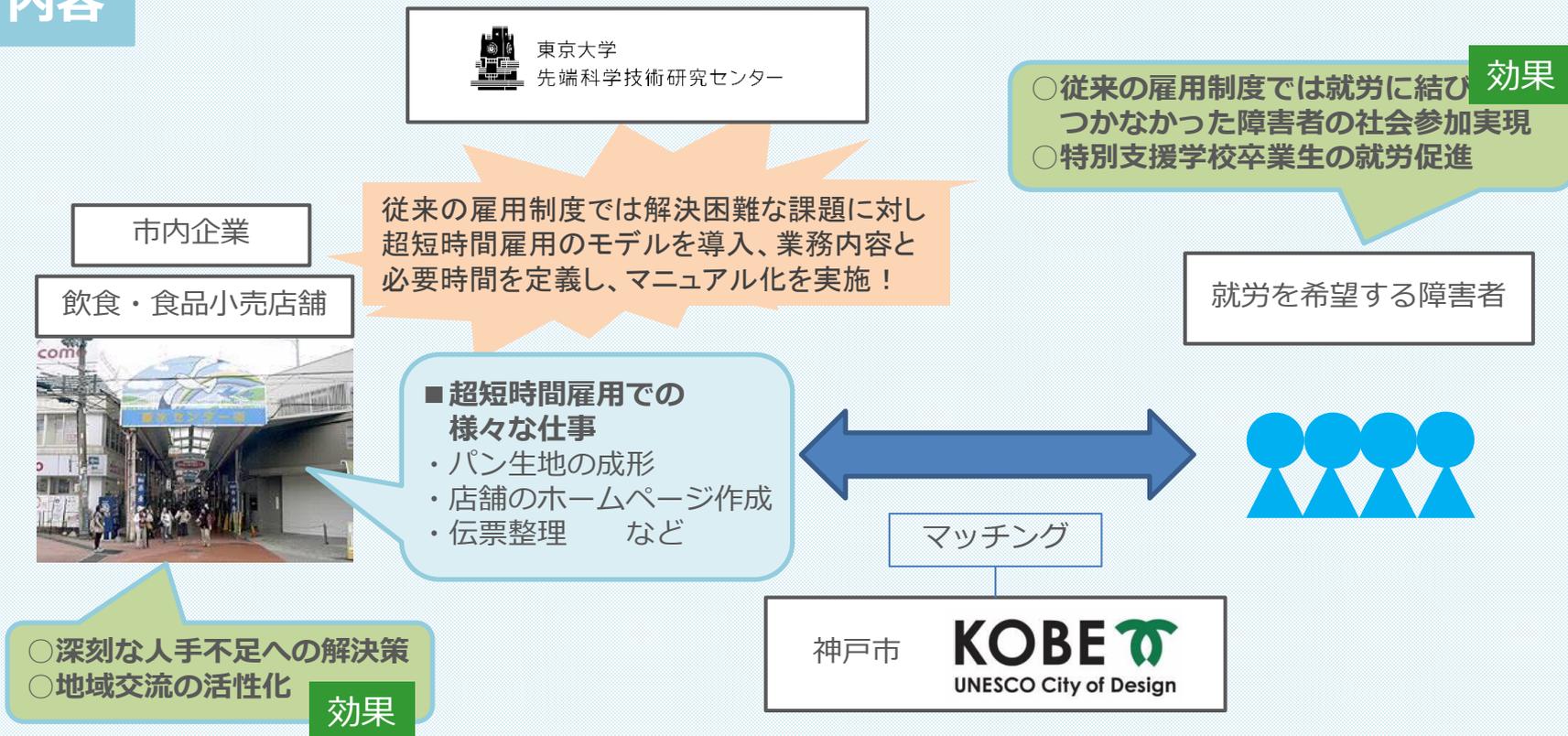
2018年6月・兵庫県「民間企業における障害者の雇用状況」  
平成29年度・兵庫県「社会福祉統計年報」

有効求人倍率	フルタイム	パートタイム
全職業平均	1.33	1.35
<b>飲食物調理</b>	<b>2.87</b>	<b>3.14</b>
<b>接客・給仕</b>	<b>2.89</b>	<b>3.91</b>
<b>商品販売</b>	<b>2.03</b>	<b>2.46</b>

2019年5月・一般職業紹介状況（厚生労働省ホームページより）

# 項目 1 障害者の多様な働き方の創出に関する取組み事例

## 内容



## 実績

垂水駅前地区を含め、これまでに15社で24名の雇用を創出

今年度は「しあわせの村」における働き方の創出にも着手 ⇒ 取り組みを全市展開へ

## 項目 2 再生可能エネルギーの活用

### 経緯

H31.4月下旬～	連携協定締結に向けて検討開始
R01.05.30～06.01	東京大学 駒場リサーチキャンパス公開に参加
現在	今後の展開について検討中

### 下記の研究室と連携に向けて検討中

- **杉山 正和 教授**：超高効率太陽電池と水素蓄エネシステム

\* R01.06.10 来神（水素関連施設やしあわせの村見学）



- **瀬川 浩司 教授**：次世代太陽電池（ペロブスカイト太陽電池）

\* R01.06.26 東京大学『サステイナブル未来社会創造プラットフォーム』に出席



- **飯田 誠 特任准教授**：風力発電・波力発電・福島県いわき市との連携

- **岡田 至崇 教授**：超高効率太陽電池（量子ドット太陽電池）

# 項目3 まちづくりに関する連携の方向性

## 課題

- ・ 少子高齢化、労働力人口の減少と、企業の深刻な人手不足
- ・ 高齢者のニーズ多様化と、地域のシルバーパワー活用の必要性
- ・ 空き家空き地の増加とコミュニティ強化の必要性
- ・ 自然災害の頻発と地域見守り・助け合いの重要性増加

## 内容

- ・ 既に東大先端研との連携協定を締結している他都市における下記の取り組みも参考に、事業の実現に向けて検討。
  - 就労支援アプリを用いた高齢者の社会参加促進の仕組みづくり
  - リビングラボを活用し地元企業と連携したスマートシティ化の取り組みなど
- ・ 地域課題の解決という目的に向かって、市民・自治体・企業・研究者など様々な主体による事業のコーディネートを目指す。

## 目標

- ・ 多様な主体が活躍するとともに、公共交通網やコミュニティ施設などの地域の資源を最大限に活かす、バランスのとれた、持続可能な街づくり